



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局 / 福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場 / いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日 / 毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：松崎 浩 幹事：野沢 達也 発行：会報・広報委員会

第 2978 例会 (8号) 2015 年8月 27 日(木) 雨

外部卓話 SPEECH

袋中上人の功績と未来会議の活動



浄土宗涅槃山袋中寺菩提院副住職
霜村真廉様

簡単に自己紹介をいたします。霜村真康(しんこう)と申します。39歳になりました。私がお務めをしている菩提院ですが、松ヶ岡公園の踏切から奥へ行った所にあります。1599年、関ヶ原の戦いの前年に袋中上人によって開山されました。

きょうお配りした資料の中に浄土宗が作りました袋中上人のパンフレットがございます。袋中上人は、いわきの西郷に生まれました。学僧として非常に名高い方です。能満寺で修行を積まれ、その後、関東各地でも学ばれました。当時、浄土宗は六つの派に分かれており、東北地方のほぼ全域をテリトリーにしている名越派という派がありました。名越派の総本山が平山崎にある専称寺のため、いわきは浄土宗が盛んで、勉強する環境がよく整っていたようです。菩提院を開山した後、いわきの殿様(岩城氏)が改易になります。袋中上人はそのタイミングで「もっと究めるため明へ渡る」と、いわきを離れます。その後、亡くなるまでいわきには戻りませんでした。

袋中上人は明へ渡りたかったのですが、なかなか叶わず渡航の機会をうかがって琉球(現在の沖縄)に滞在しました。そこで浄土宗の念仏自体を沖縄に伝えた最初の僧となりました。沖縄の「エイサー」は念仏踊りの亜種とされます。旧暦のお盆の3日間で、その年に新しくお葬式を出した家庭を巡って霊を慰めて歩くというのがエイサーで、これはまさに、いわきの「じゃんがら」と同じ習わしです。毎年、菩提院では8月13日に菅波青年会にお願いして「じゃんがら」を踊っていただいています。また、沖縄の「エイサー」の方々にも来ていただき、踊ってもらったこともあります。

私の家族を紹介します。妻と長男、次男、長女、そして住職であります義父、義母、前の住職である義祖父の8人四世代同居です。震災の時、2番目の子が生まれて4カ月で、放射能など心配なことがありまして、ほぼ1年間、私の実家の栃木の方へ妻と子供を避難させました。震災の時は、皆さんが何かをしようとしていました。袋中上人の縁で、もともと震災前から交流のあった沖縄の「エイサー」を踊る方たちは「袋中上人の古里が震災で大変なことになっている」と、多彩な援助をしてくれました。2011年6月には「福島沖縄ゆいまーるまつり@いわき」として「ハイサーおじさん」で有名な喜納昌吉さんらが被災地を励ますイベントを行いました。9月には「復興エイサー inいわき」が菩提院や犠牲者を出した久之浜などで催されました。

また、浄土宗福島教区浜通り組青年会という組織が「浜〇(まる)カフェ」として仮設住宅や被災地の集会所を巡って支援活動を展開しました。話を聞いた本山の意向もあり、被災3県にまで範囲を広げて今も続けています。

私のもう一つの顔といいますか、「未来会議」という組織で活動しています。未来会議は、まさに震災をきっかけに始まりました。ソフトバンクの孫正義さんがお金を出して発足した東日本大震災復興支援財団が中心で、子ども被災者支援法の基本方針への現地ヒアリングをしたいということを伝えてきました。そこで子を持つ母親、学校の先生、医療関係者らを集めることになり、私にも声が掛かりました。

会議は対話方式で、あるテーマについて議論でなく、まず相手の言うことを聴いて、自分はどう思ったかを相手に伝えるという形で行われます。始めたころは2012年でしたが、いわきには、こんな悩みがあるといったことを対話方式で行い、集まった人が一緒に考えました。その未来会議の場を開くのが私たちの役割です。事務局として誰でもいいから集まれるようにしています。「価値観の多様さや一人ひとりの違いは宝である。違いが一番大事だよ」という考えで運営しています。さらに、そこに集まった人たちのネットワークづくりのお手伝いもしています。

(裏面に続く)



2015~2016年度
国際ロータリーのテーマ

「世界へのプレゼントになろう」

Be a gift to the world

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

最初は2013年に財団の支援を受けて5回開催し、その後は、完全に自主開催をしています。2014年には本会議という大きな場を3回開いて毎回80人ほどの参加がありました。この未来会議は「30年続けよう」と言い出して始めました。30年というのは原発の廃炉がそのくらい掛かるだろうと言われていたことや、続けていけば我々の子供たちの世代にバトンタッチできるという考えからです。多世代が一緒に話すため、誰でも来てくださいと呼び掛けて来ました。おかげさまで今は、地域の課題について、上は80代から下は小学生まで対等に話をしているところです。

これまでの活動の中では、子供たちも参加して将来の、いわきの地図を描いてみるなどの企画を行いました。番外篇ですが、筑波大の創造的復興支援プロジェクトの一つとして原発事故の被災地の人々の様子をドキュメンタリー映画にしました。未来会議に集まる人を追っていくだけでも面白い作品ができると持ち掛けられ、映画撮影のための会議も開き「いわきノート」という映画を完成させました。

今年になって、初めていわき以外のところで会議を開きました。「未来会議、神戸に行く」をテーマに、1月17日に阪神淡路大震災から20年を経た神戸市で開催しました。「福島4年、神戸の20年」として2つの震災の経験を分かち合う貴重な時間を持ちました。

3月11日を前にした7日には「未来会議2015第1回会議」を市内で開きました。その後、南相馬市に永住された作家の柳美里さんや大熊町教育長の武内敏英さん、元副市長の鈴木英司さんにゲストとして話をしてもらい、「あれから4年、いま大切にしておきたいこと」をテーマに100人以上が集い対話しました。10月24日には第2回の未来会議を午後1時から市労働福祉会館で開きます。どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひお越しください。

司会：野沢幹事

点鐘・ロータリーソング（奉仕の理想）・
四つのテスト（三瓶和秀会員）

三瓶和秀会員



◆来賓・来訪ロータリアンの紹介

卓話をお願いした浄土宗涅槃山袋中寺菩提院
副住職 霜村真廉様

◆幹事報告

- いわき桜RCの会報と、いわき平東RCより9月のプログラム予定表が届きました。
- 11月15日の南相馬市での地区大会の出欠をまだ済んでいない方は回覧しますので書き込んでください。

◆会長挨拶ならびに報告



いわき平ロータリークラブでは久々の夜間例会かと思えます。まあ四季折々に親睦を中心とした夜間例会は恒例となっていますが、こうして外部から卓話の講師をお呼びして、囲みながらお話をお聴きするスタイルはめったにないことです。SAAの伊藤盛敏委員長から提案がありまして、せっかく講師をお招きしたので先にセレモニーを済ませて、じっくりと話を聴き、その後、ゆっくりと食事して懇親を深める形にしました。きょうは霜村様からも活動を紹介する素晴らしい資料4点も提供されています。有意義な夜間例会としたいと思いますので、よろしくお願いします。

委員会報告

◆出席委員会（代理・野沢達也幹事）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
8月27日	52名	52名	—

◆ロータリー財団委員会（坂本佳友副委員長）

阿部弘行さん、大久保健蔵さん。 以上2件

◆米山記念奨学会委員会（代理・坂本佳友会員）

阿部弘行さん、大久保健蔵さん。 以上2件

◆スマイルボックス委員会（代理・鈴木稔会員）

♥松崎浩さん（霜村真康さん卓話よろしくお願ひします）♥鈴木東雄さん（霜村さん、卓話よろしく）♥三瓶和秀さん（霜村さん卓話よろしくお願ひします）♥有賀行秀さん（霜村さん卓話よろしくお願ひします）♥関口武司さん（未来会議霜村様卓話宜しくお願ひ致します）♥竹谷金浩さん（仙台育英、頑張った！次こそ優勝だ！）♥大久保健蔵さん（若和尚卓話ががんばってください） 以上7件

★本日の例会案内 9月3日（木） 12:30～

雑誌委員会担当卓話

榎田幸太郎様（元岩瀬農業高校校長）

お食事メニュー＝チキンソテー温野菜添え／冷製パスタ

★次回の例会案内 9月10日（木） 12:30～

ガバナー補佐来訪

お食事メニュー＝海鮮ちらし寿司／ミニ蕎麦